

事業評価調書

◎基本情報

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|--|------------|-------|--------------|-----|
| 年度 | 令和3年 | 会計コード | 10 | 一般 | 事業コード | 20685 | |
| 事業名 | 札幌市農業基盤整備補助金 | | | | | | |
| 評価担当課 | 所属名 | 経)農政部 農業支援センター | | | | | |
| | 課長名 | 高栗 | 担当者名 | 山下、平島 | 電話番号 | 011-787-2220 | |
| 施策名 | 主 | 食の魅力を生かした産業の高度化 | | | | | |
| | 副 | | | | | | |
| アクションプラン | ● 対象 ○ 対象外 | | 戦略ビジョン | ● 対象 ○ 対象外 | | | |
| 事業の性質 | ○ 経常経費 ● 臨時的経費 | | | | | | |
| | ○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理 | | | | | | |
| 事業内容 | 実施形態 | ○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他 | | | | | |
| | 目的 | 短期 | 意欲的な生産者が、農業生産上の課題解決のため実施する基盤整備等にかかる費用の一部を助成する。平成30年度以降電気柵設置により農作物被害を防いだ農地面積(累計)を目標とし、令和4年を目標年次として累計121haを目指す(アクションプラン2019) | | | | |
| | | 長期 | 生産者が持続的に農業経営を行えるよう経営の安定化を図り、本市農業の活性化につなげる。 | | | | |
| | 取組内容 | ①札幌市農業基盤整備事業:土地基盤等の整備や環境保全型農業に寄与する施設・機械等の導入に対して助成する。②強い農業・担い手づくり総合支援交付金:国(農水省)の事業を活用し、地域の中心的経営体に対し農業用機械等の導入を支援する。③札幌市地産地消推進事業:安全・安心な農畜産物の生産と地産地消の推進に繋がる取り組みに対して補助 | | | | | |
| | 実施結果 | ①23件の事業実施主体(生産者及び生産者団体)に対して補助を行った(鳥獣侵入防止電気柵15件、パイプハウス6件、農道整備1件、用水施設1件) ②強い農業づくり総合支援交付金により、ハウスの補助を行った(1件) ③環境負荷低減に寄与する農業機械等の補助(3件) | | | | | |
| 事業実施における工夫点 | JAと協力して、地域間のバランスや、地域の抱える課題を考慮して事業を執行した。 | | | | | | |
| 対象者 | 市内農業者及び市内農業者組織 | | | 開始 | 平成9年度 | 終了 | 0年度 |
| 関連法令・条例・要綱等 | 札幌市農業基盤整備事業実施要綱、強い農業・担い手づくり総合支援交付金実施要綱、札幌市地産地消推進事業補助金要綱 | | | | | | |
| 他都市の状況 | 20政令指定都市中18市が生産基盤の整備について、補助要綱を定め事業を実施している。補助率は1/10(10%)~4/5(80%)以内(平成20年度調査集計、平成29年度追加集計) | | | | | | |

◎事業費

(単位:千円)

| | 令和2年度決算 | 令和3年度予算 | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 | |
|------------|---------|--|---------|---------|--|
| 事業費 | 259,078 | 16,000 | 11,459 | 16,000 | |
| うち特定財源 | 317 | 6,000 | 1,500 | 6,000 | |
| 人工 | 1.2 | 1.1 | 1.1 | 1.1 | |
| 人件費 | 8,640 | 7,920 | 7,920 | 7,920 | |
| 計(事業費+人件費) | 267,718 | 23,920 | 19,379 | 23,920 | |
| 事業費の内訳 | 令和3年度決算 | ①札幌市農業基盤整備事業:9,463千円(地場生産型施設整備事業5,622千円、土地基盤整備事業1,224千円、有害鳥獣対策事業2,617千円) ②強い農業づくり総合支援交付金:1,500千円 ③札幌市地産地消推進事業:496千円 | | | |
| | 令和4年度予算 | ①札幌市農業基盤整備事業 9,500千円 (内訳:地場生産型施設整備事業、土地基盤整備等5件、有害鳥獣対策15件) ②農地利用効率化等支援交付金(融資主体支援タイプ) 6,000千円(内訳:3,000千円/件×2件) ③札幌市地産地消推進事業:500千円 | | | |

◎検証(振り返り)

| | | | | | |
|------------------------------|---|---|-----------------|---------|-------|
| 活動指標1 | 指標名 | 農家への基盤整備補助件数(累計) | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 | |
| | 145件 | 160件 | 168件 | 188件 | |
| 活動指標2 | 指標名 | | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度予定 | 令和3年度実績 | 令和4年度予定 | |
| | | | | | |
| 成果指標1 | 指標名 | 電気柵設置により農作物被害を防いだ農地面積(累計) | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 | |
| | 98ha | 110ha | 110ha | 121ha | |
| 成果指標2 | 指標名 | | | | |
| | 令和2年度実績 | 令和3年度目標 | 令和3年度実績 | 令和4年度目標 | |
| | | | | | |
| 項目 | 判定 | 理由 | | | |
| 事業の成果 (目的をどの程度達成できたか) | A | パイプハウスの地場生産型施設整備事業を主体とした事業の実施により、農作物の安定生産につながり、より効果的な施設整備となった。 | | | |
| 事業規模 (事業ボリュームは適切か) | A | 国や道の補助事業の大部分は大産地向けであり、特に札幌のような都市型農業に合致した支援事業は少なく、市町村レベルでのきめ細かい対応が必要である。生産者から地域の課題解決のための施設の導入等について強い要望があり、当事業の充実を図ることが求められている。 | | | |
| 事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か) | A | 地域の課題を適切に反映すべく、事業メニュー毎に採択条件、補助率等を要綱で定め、必要に応じて見直しをしている。またJAさっぽろと協力して地域間のバランスにも配慮しながら、ニーズやその時の状況に応じて適宜対応している。 | | | |
| 対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか) | A | 事業採択の公平性を考慮しつつ、対象ニーズに応えながら事業を執行できている。 | | | |
| 市民参加の実施 | <input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映 | | | | |
| 今後の改善点 | 引き続き地域課題や緊急性を考慮しながら、事業対象を選定していく必要がある。 | | | | |
| 前回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | | |
| 今年度取り組んだ見直し内容 | なし。 | | 見直し効果額 (前年度) | 0 | 千円 |
| 今回の評価 | ● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし | | | | |
| 評価の理由 | 生産者からの事業要望は強く、今後も継続して事業を実施していく必要がある。 | | | | |
| 次年度の取組の方向性・改善内容 | 事業内容 | ● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 意欲的な農家の安定的な生産基盤を維持するために事業を実施していくとともに、現在限られている補助対象事業を、今後はニーズの高い機械等の導入に対しても支援するなど営農に係る事業について補助対象とし、事業の拡充を図る。 | | | |
| | 予算 | ● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 | | 見直し効果額 | 4,000 |
| | 国の補助事業(3/10以内)に採択された事業に対して、5割補助となるように、市費による上乗せを実施する予定。 | | | | |